五所川原町報

発行所　北津軽郡五所川原町　五所川原町役場　電話（二八番 二二八番 三二九番）
発行兼編集人　庶務課　廣報係
印刷所　陸奥印刷株式会社

我が町の人口

（三月末日現在）
人口　一三、五八一
世帯数　二、六七七

赤十字社員募集並社資収入運動

毎年五月の『白い羽根』赤十字社員募集運動は、町報で御了知の通り今年五月九日青森市に於て支部社員総会の為繰上運動実施の所、町内皆さんの御理解ある御協力と協賛委員の御努力により前年度通り大変良い成績で目標額を超過出来ましたことは誠に有難く感謝致し厚く御礼申上げます。実績は左記の通りで未だ町内から全部来ていないのもあるが、近日中完納の予定であります。

記　（四月五日現在）

町名	出金額
栄町　田町	一八、五四五円
元町　全更生街	九、六五〇円
新町　鎌谷町	一九、〇九五円
柳町　全更生街　第二住宅	四、九九〇円　募金中
本町	一九、八六〇円
川端町	一二、三〇〇円
布屋町　彌生町	一四、九八〇円
東町	五、六〇〇円
大町	一九、六〇〇円
寺町　岩木町	一三、三一五円
錦町	一〇、七六〇円
柏原町　幾島町	一四、五〇〇円
新宮町　全住宅　幾島住宅	三、四八〇円
中平井町	五、六〇〇円
上平井町　平井町　中平井町一部	八、五五〇円　募金中
下平井町	一一、〇四五円
敷島町　東雲町　第一住宅	七、四〇〇円　募金中
旭町	二一、六三〇円
計	二二〇、九〇〇円

以上

五所川原町赤十字募金委員会

人事異動

二月一日付
五所川原町消防暑臨時雇を命ずる　葛西　孝

二月十五日付
事務吏員　齊藤善次郎
死亡による解職

二月十七日付
保健婦　齊藤　れつ
保健婦を免ずる
看護婦を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる

山本　みね
保健婦を命ずる
健康保険課勤務を命ずる

三月一日付
事務吏員　井沼清三郎
五所川原町公営住宅監理員を委囑する

三月三十一日付
事務吏員　福井彦右ェ門
願により本職を免ずる

四月一日付
臨時雇　益田　龍馬
五所川原町消防暑消防士を命ずる

鹿内　愛子
五所川原町技術吏員に任命ずる
看護婦を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる

齊藤　信一
雇を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる

衛生常置人夫　成田　柾一
五所川原町使丁を命ずる

農業共済組合役員決る

五所川原町農業共済役員並総代の選挙の結果当選者左記の通り

理事　岩谷　卯作　松本政五郎　毛内金次郎　木村　勝彌　宮本　清蔵　三浦　藤一　蒔田　源吾　松本　由吉　和田要次郎　工藤　仁　小田桐久右ェ門

監事　平山　耕二　千葉　幸助　小田桐喜代太郎

総代　宮崎　勇治　猪口　忠勝　高橋　信吉　成田孫太郎　山上　又一　葛西勝太郎　佐々木佐一　小田桐市太郎　山内武四郎　木村　保壽　小田桐宇三郎　小野　勝典　高橋　貞作　寺田三次郎　森　勇造　千葉　清隆　松本　清　小田桐惣吉　木村　勇心　木村　勇一　松本多四吉　成田　長吉　平山賢次郎　奈良　勝蔵　山川　芳雄　澁谷清次郎　池田金四郎　小田桐嘉四蔵　蒔田　富吉　木村孫太郎　野呂　竹藤　工藤　金雄　成田直太郎　木村長四郎　長内　要作。

標札掲示方お願

種々行事施行に当り皆さまにお知らせするに、標札の掲示がない方がありますので困って居りますから、標札の掲示方お願い致します。尚借家（借間）の方は特にお願い致します。

春季清潔法検査に就て

昭和二十九年度春季清潔法検査は五月中旬に行う予定であります。尚ほ詳細は四月二十日頃町内へ掲示いたします。

長い間の多ごもりで家庭内は勿論周辺に塵芥が散乱しています。又暖かな陽氣と共に蠅、蚊が出て参りました。百害あって益ない害虫を此の際撤底的に撲滅いたしましょう。

受診証更新に就て

四月一日より国民健康保険の受診証の切替する事になり目下皆さまのお手元にお届け中ですが、未着の方で急を要する方は役場の係の方へお出で下さい。

犬の狂犬病予防注射実施について

右について左の通り行いますから、犬の所有者各位はお忘れなく御用意下さい。尚個人宛通知は致しません。

左記

一、日時　四月十九日十時―十六時
二、場所　町役場裏側
三、料金　一頭について百六拾円

告知板

固定資産課税台帳の縦覧

昭和二十九年度固定資産税の課税台帳を左記により関係者の縦覧に供します。

記

一、縦覧場所　五所川原町役場税務課
一、縦覧期間並時間　自昭和二十九年四月十五日　至同年五月四日（休祭日を除く）　午前八時半より午後四時半まで（土曜日は正午までです）

春訪れると共に
交通事故も増加して参ります
人は右側　車馬は左側
無灯火　二人乗りは是非や
めましょう

町議会の動き（三月中）

町議会事務局

定例町議会（自三月八日至三月十三日）

一、昭和二十九年度一時借入金の件　可決
一、歳計剰余金運用の件　可決
一、豫算欵内流用に関する件　可決
一、基本財産及現金預け入先決定の件　可決
一、基本財産蓄積停止の件　可決
一、町歳入歳出繰上げ充用に関する件　可決
一、昭和二十九年度一般会計歳入歳出予算の件　可決

内訳

歳入

1 町税	三三、四六一、二九八円
2 地方財政平衡交付金	五、二五〇、〇〇〇円
3 公営企業及財産収入	三七、七一二円
4 使用料及手数料	九七七、三五〇円
5 国庫支出金	九九三、三三九円
6 縣支出金	三六八、一二九円
7 寄附金	一〇〇円
8 繰越金	一、〇〇〇円
9 雑収入	三、七八三、五七二円
計	四四、八七二、五〇〇円也

歳出

1 議会費	一、四八五、六〇〇円
2 役場費	一〇、一〇七、一八七円
3 警察消防費	五、〇六六、二〇六円
4 土木費	二、〇八六、一八六円
5 教育費	五、八四八、九四七円
6 社会労働施設費	二、一〇三、七五四円
7 保健衛生費	二、一三七、六七二円
8 産業経済費	九七四、五三二円
9 財産費	二〇二、二七二円
10 統計調査費	三二三、八三二円
11 選挙費	四二八、九〇〇円
12 公債費	二、七七四、四一二円
13 諸支出金	一、三三三、〇〇〇円
14 繰上充用金	八、〇〇〇、〇〇〇円
15 繰出金	一、〇〇〇、〇〇〇円
16 予備費	一、〇〇〇、〇〇〇円
計	四四、八七二、五〇〇円也

一、昭和二十九年度特別会計都市計画事業費歳入歳出予算の件　可決
七、一四一、四三一円也
一、昭和二十九年度特別会計水道費歳入歳出予算の件　可決
二四、四五〇、〇〇〇円也
一、町立病院看護婦仮宿舎借上げの件　可決
一、町特別会計国民健康保険事業費一時借入金の件　可決
一、昭和二十九年度町特別会計国民健康保険事業勘定歳入歳出予算の件　可決
九、九七〇、〇〇〇円也
一、昭和二十九年度町特別会計国民健康保険事業費直営診療勘定歳入歳出予算の件　可決
二二、八五一、二八〇円也
一、五所川原小学校々舎増改築追加工事の件　可決
一、五所川原小学校々舎増改築追加工事随意契約締結の件　可決
一、五所川原火葬場使用條例中改正條例の件　可決
一、保育所措置徴收條例制定の件　可決
一、基本財産造成の件　可決
一、五所川原町起債及償還方法議決中変更の件　可決
一、昭和二十八年度町歳入歳出追加更正予算の件　可決
一、昭和二十八年度特別会計水道費歳入歳出追加更正予算の件　可決

滞納税金を早く納めてください

一、再三税金の滞納者に対して督促をしていますが、いまだ完納して居らぬ方が、大変に多いので、整理一掃に乗り出して居りますから、徴收にお伺いの際は、かならず納付方をお願いします。

二、皆様のお都合により滞納額を完納できないときは、徴收に伺いの際、その旨申述べ、何時何時迄に完納できるか御知せ願います。

三、分割納入して戴いても滞りがちの方には誠に不本意ですが逐次差押処分の執行致しますから悪しからずお諒承願います。

教員定期異動

四月一日付
五所川原教育委員会

新任校	舊任校	職	氏名
五小	梅澤小	教諭	澁谷　定雄
〃	飯詰小	〃	高橋ヨシエ
〃	板柳小	助教諭	原　八重
五中	金木中	教諭	外崎美智雄
〃	中川中	〃	小野昭四郎
〃	栄中	〃	開米　洋
〃	栄小	〃	木村　俊夫
〃	羽野木澤小	助教諭	高橋　昌子
〃	飯詰小	〃	荒関　知衛
〃	新	教諭	飯塚　俊雄
松島中	五小	〃	黒瀧　信正
鶴田中	五小	教諭	木村　雪江
弘前桔梗野小	〃	〃	栗田美智子
鶴田中	〃	〃	齊藤　薫
胡桃舘小	五中	〃	対馬　藤重
六郷中	〃	〃	村上　柾衛
赤石中	〃	〃	保村　ゆき
弘前一中	〃	〃	工藤　弘子

昭和29年4月17日　五所川原町報　第25号

第六回婦人週間に当りて

婦人の地位向上をはかるためには婦人自身社会一般が不断の努力を重ねると共に、一定期間を設けて強力な運動を展開することが必要と考えられるところから、昭和二十四年以来例年わが国婦人の最初の参政権行使の期日である、四月十日に始まる一週間を婦人週間として、全国的に婦人の地位向上のため行事を行つております今年は第六回であります。

一、目　的

婦人の地位向上のためには、婦人自身及び社会一般が近代的な意識をもつと同時に、婦人自身高い能力を身につけることゝ婦人の能力の啓発をはかることがきわめて肝要であります。とくにわが国の獨立国としての発展が、内外ともに期待され、又とくに日本経済が種々な困難に直面している今日、婦人がその経済生活を賢明に担当し、国家経済の向上に寄與することは最も必要なことゝ考えられます婦人の地位の実質的な向上およびわが国の経済的発展に寄與することを本週間の目的とします。

一、目　標

婦人の実力の涵養

一、スローガン

婦人の実力を育てましょう。

＝家庭や社会経済生活において＝

一、主　唱

労働省、青森婦人少年室

住民登録法

此の法律は市町村において其の住民を登録することによつて住民の居住関係を公証しその、日常生活の利便を図るとともに常時人口の状況を明らかにし、各種行政事務の適正でしかも簡易な処理に資するのが目的です。みなさんが登録してある『カードを』住民票といゝますが此の住民票には住所の外其の世帯主と家族の人達の氏名年令続柄等も書いてあります。何か事が起きた時、本籍地の市町村役場から戸籍謄抄本を貰うのに日時が要するので間に合わないことがありますこんな時は住民登録してある居住地役場に住民票謄抄本を請求すればすぐ出來大変便利です

五所川原町に居住している人は全部登録しなければなりません。

届出を氣付かずにいるのではないかと思われる点もありますから、左の事項については充分に御注意下さい

記

一、他市町村から当町へ居住地を移したとき

二、町内で住所を移動したとき

例

田町より下平井町に住所変更等

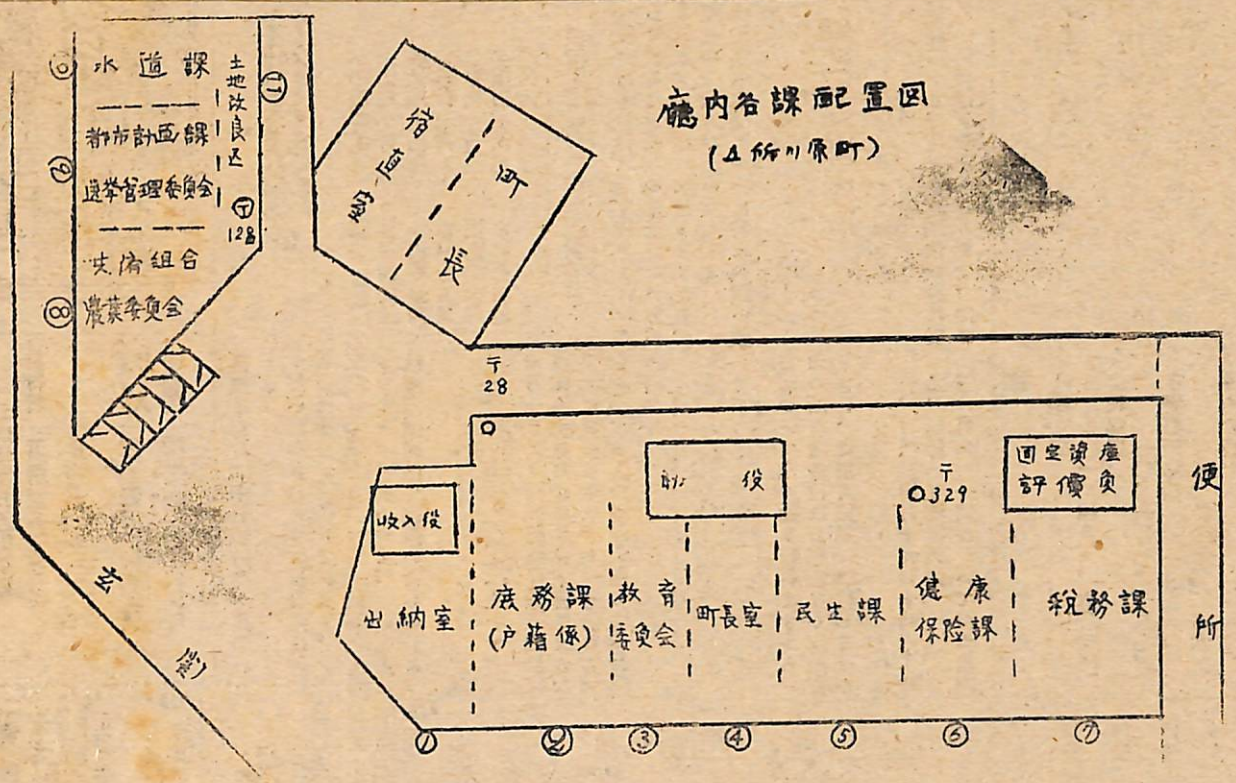
三、世帯主が変つたとき

四、新たに世帯を設けたとき

五、その他住民登録事項に変更あつたとき。

右はいずれも事項が発生してから十四日以内に届なければなりません。住民登録を怠ると罰せられるのみならず、町民としての不利不便を蒙る場合がありますから、かならず登録しなければなりません。

届出の用紙は役場戸籍係にありますから、印鑑持参すればすぐ出來ます



寺町田町旭町の一部コンクリート舗装実施

次の町の道路舗装が行はれますので水道施設の新設、位置変更等は舗装終了後には出來兼ねますので早く水道課（電一二八番）に申込み下さい

記

一、丸大藥局より乾橋まで

一、田町、鹿内商店より三階まで

一、ロータリーより五所川原会館まで

清掃美化

塵芥運搬に御協力下さい

今日は御承知のように冬期間の塵芥が非常に多く、作業が遅れ勝ちで甚だ申訳ないのでありますが、それがためか岩木川土手附近及鎌谷町ゴミ捨場附近道路に多量の塵芥が投棄されてあります。ゴミの運搬には全力を注ぎ運搬に從事して居りますから今暫らく御辛抱して下さい。

次に自宅前の下水道でありますが、四月中に是非綺麗にしていただきたいのであります何卒御協力をお願い致します。

公民館行事予定

（四月中）

十七日　スクエアコーラス
十九日　〃
二十日　演劇
二十二日　〃　書道
二十三日　〃
二十四日　スクエアレコードコンサート
二十五日　コーラス
二十六日　運営審議委員会
二十七日　コーラス
二十八日　演劇
二十九日　〃　書道
三十日　〃

『昭和二十九年度町民税の申告書を早く出して下い』

一、申告書を提出するかたは昭和二十九年一月一日現在町内に居住して昭和二十八年中に所得のあつた人は洩れなく申告して下さい。

（但し轉勤者。移動者は各々現在居住地に於いて申告致さなければなりません。）

二、已に申告期限は切れて居りますが四月末日まで延期受付ますから洩れなく申告して下さい。

三、申告書は所得のあつた人、一人一枚ですから皆様お家庭で何人も所得者があれば、一人一人が申告して下さい。又借家住いの方も同じです。用紙は皆様の宅に配付してありますが、なくした方は税務課に申出ると差上げます。

尚申告書を提出しない場合は町民税の軽減はされないことがありますから御注意願います。

塵芥運搬予定表

四月十九日以降

十九日　田町（新本町）
二十日　東町（布屋町）
二十一日　鎌谷町（柳瀬生町）
二十二日　川端町（岩木町）

戸籍の窓

◉都合により予定変更することもあります

二十三日　岩木町（寺）
二十四日　寺町（大）
二十五日　大町
二十七日　旭町
二十八日　旭町
二十九日　敷島町
三十日　下平井町

出生

女　一二名
男　一四名
計　二六名

死亡

女　四名
男　四名
計　八名

◉出生

三藏　五女　錦町
佐々木惠子　長男
俊光　寺田晴夫　東町
円次郎　四女
加藤キヨ　幾島町
聽　長男
鈴木勝栄　敷島町
文内　長女
山田誠美　岩木町
誠一　二女
三浦美奈子　田町

宗信　二女
長尾幸子　川端町
武義　長女
久未友子　錦町
勇二郎　三男
天内正二　柳町
文藏　三男
高松克行　田町
勇造　長男
木村隆仁　大町
寅次郎　三男
成田光則　布屋町
茶市　長男
永田修　中平井町
重次郎　三女
山田小浪　柳町
豊仁　長男
佐藤文彦　柏原町
公一　参女
工藤智惠子　寺町
秀四郎　二女
大村朝子　中平井町
由夫　長女
宮本ひとみ　幾島町
嘉一　長男
佐々木隆　旭町
清美　長女
千葉さつる　下平井町
政敏　長男
原孝敏　新宮町
武男　二男
太田芳行　栄町
四郎　二女
工藤壽子　鎌谷町
英治　長男
小野富士人　本町
清三郎　長男
井沼清英　岩木町
幸一郎　長男
高谷清純　本町

△死亡

山上巌　二六才　柏原町
堀内まる　七〇才　新町
加藤庫三郎　五三才　敷島町
加福とし　五一才　錦町
山上やさ　六八才　布屋町
高谷清純　〇才　本町
幸一郎長男
佐藏源之助　八〇才　本町
林きよ　八〇才　錦町

災害はみなさまの隙を狙つて居ります

寝る前　出る前

戸締り火元御用心!!

最近塵芥の野外焼却がよく見受けられますので後仕末を充分すると共に事前に消防署（電話六八番）に連絡下さい